

明るく住みよい  
町をつくるため  
議会を傍聴しよう  
お気軽においでください



第 148 号

平成26年 6月 1日発行

〒289-0692

香取郡東庄町笹川い4713-131

東庄町議会

電話 0478 (86) 1 1 1 1

## 第16回 子どもまつり



大型連休の最終日5月6日は、小雨降る肌寒い朝となりましたが、子どもまつりが開催された公民館は、たくさんの子もたちの熱気にあふれました。会場内では、ダンス発表のほか、おまつり体験コーナーで縁日気分を味わったり、チャレンジコーナーでは、杉の子サークルのお兄さんやお姉さんの協力で、パターゴルフなどを楽しみました。



- 3月定例会の内容…………… 2～3
- 予算審査特別委員会報告…… 3～5
- 議員定数検討調査特別委員会  
小型ポンプ積載軽自動車訓練  
新議員等町内介護(予防)施設見学… 5
- 一般質問…………… 6～10

# 3月定例会

## 平成26年度一般会計47億2,500万円 前年度比3.1%の増

### 道路関係予算9,500万円増、幼・小・中学校給食費に1,000万円補助

#### 定例会の経過概要

三月定例会は、三月四日から十四日までの十一日間の会期で開かれました。  
今議会では、人権擁護委員候補者の推薦、条例の一部改正、補正予算、平成二十六年各会計予算などの議案が提案され、慎重審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。  
一般質問は八人の議員が行いました。

三月定例会初日の四日には、一般質問を八人の議員が行い、次に、諮問一件を上程し採決を行った結果、原案のとおり適任とすることに決定しました。  
続いて、条例の一部改正、各会計の補正予算など議案十三件を順次上程し、いずれも原案のとおり可決しました。

二日目の五日には平成二十六年の八会計予算案を順次上程し、これらの議案を審議するにあたり、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置することとし、同委員会に審査を付託しました。  
六日、七日及び十日に予算審査特別委員会を開催し、平成二十六年各会計予算案について詳細な審査を行いました。  
最終日の十四日には、平成二十六年各会計予算案について、予算審査特別委員会委員長から審査結果の報告があり、採決をした結果、各会計予算とも原案のとおり可決しました。

#### 可決された主な議案等の概要

- ◎人権擁護委員候補者の推薦  
法務大臣に推薦するにあたり議会の意見を求められたもので、河津正夫氏（青馬）を適任者として推薦することに決定しました。
- ◎町税条例の一部改正
- ◎国保条例の一部改正  
地方税法施行令及び同施行規則の改正に伴い、これらを引用する各条例についても、所用の改正を行うものです。
- ◎後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- ◎介護保険条例の一部改正  
延滞金の割合の特例に関し、各保険料について、町税との公平性を図り同様の扱いとするため、所用の改正を行うものです。

- ◎町職員定数条例の一部改正  
東庄病院の更なる医療体制の充実を図るべく、定数を二人、増員するものです。
- ◎町長、副町長及び教育長の給料月額減額条例の一部改正  
町長が二〇%、副町長が一五%及び教育長が一〇%、給料月額を減額する特例措置を本年末（平成二十六年十二月）まで延長する事としました。
- ◎一般職職員の給与条例の一部改正  
国や県の動向を踏まえ、若年層に限定した給料月額改定を行う一方で、高齢者層（五十五歳以上）の職員の給料の抑制措置を講じるものです。
- ◎一般会計補正予算  
補正額は、千四百三十四万七千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を四十八億五千八百八十六千円とするものです。  
歳出の主なものは、福祉関係で、障害者の自立支援給付費・六百五十万四千円、放課後児童健全育成事業委託料・二十五万六千円。農業関係で、排水路補修に係る負担金・四十七万三千円。土木関係で、道路橋梁補修設計業務委託料の追加分・六十五万円、土地改良施設改修に係る負担金・

十五万四千円。その他、ふるさと応援基金の積立金等です。  
◎介護報酬特別会計補正予算  
介護報酬改定等に伴うシステム改修費、及び給与改定による人件費等、十八万四千円を増額補正するものです。



あいさつをする議長（3月定例会）



### 3月定例会 上程議案等議決結果

諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について……………	【適 任】
議案第1号	町税条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第2号	東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第3号	東庄町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第4号	東庄町介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第5号	東庄町障害程度区分審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第6号	東庄町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第7号	東庄町社会教育委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第8号	東庄町職員定数条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第9号	町長、副町長及び教育長の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第10号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第11号	東庄町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部を改正する条例を制定することについて……………	【原案可決】
議案第12号	平成25年度東庄町一般会計補正予算（第5号）……………	【原案可決】
議案第13号	平成25年度東庄町介護保険特別会計補正予算（第3号）……………	【原案可決】
議案第14号	平成26年度東庄町一般会計予算……………	【原案可決】
議案第15号	平成26年度東庄町国民健康保険特別会計予算……………	【原案可決】
議案第16号	平成26年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算……………	【原案可決】
議案第17号	平成26年度東庄町食肉センター特別会計予算……………	【原案可決】
議案第18号	平成26年度東庄町訪問看護ステーション特別会計予算……………	【原案可決】
議案第19号	平成26年度東庄町介護保険特別会計予算……………	【原案可決】
議案第20号	平成26年度東庄町水道事業会計予算……………	【原案可決】
議案第21号	平成26年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算……………	【原案可決】

## 予算審査特別委員会報告

新年度予算については、議会の円滑な運営と予算審議の充実を図るため、予算審査特別委員会を設置することになりました。委員長には宮崎正吾議員、副委員長には城之内一男議員が指名され、議員全員が委員となり審査しました。予算審査特別委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。

### （一般会計 歳入）

質 学校給食負担金には、消費税の増額分が含まれているか。

答 給食費に消費税は、含まれていません。

質 一時借入金の一時とは、どの程度の期間か。

答 同一会計年度内です。

### （一般会計 歳出）

質 （本町の）議員年金受給者の人数は、何人か。

答 ご存命の方が、十九人で、遺族年金受給者が七人です。

質 「行政改革推進委員謝金」が計上されているが、その人数と活動状況は。

答 現在は、委嘱されている方はおられません。その必要性が生じた場合の為の八人分の予算計上となっています。

質 「コンビニ収納等準備委託料」があるが、納付書の様式や収税協力会との関係等から、どの様な方法になるか。また、導入の理由は。

答 納付書の様式は、一つの様式となります。近隣市町村で導入が進んでいることから、早期に実施するものです。しかし、コンビニ収納では、納期前全納報奨金制度が運用しがたいことから、内部で、廃止の検討をしております。備品購入費で計上されている車両の種類は、また、防犯の観点から白黒に塗装して、犯罪の抑止力とすることは可能か。

質 通常の業務に使用するハイブリッド車を想定しており、



宮崎正吾 予算審査特別委員長

質疑の様子



質 「住宅用省エネルギー設備設置補助金」の対象は。

答 電気自動車の充電設備、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、エネルギー管理システムの四項目です。

質 「各種集団検診委託料」の対象者は。

答 胸部レントゲン、四十歳以上。胃のレントゲン、四十歳以上。子宮がん、二十歳以上。乳がん、四十歳以上。の全町民が対象です。

ただし、本町では、年齢に達しなくても、希望者は実施していただいております。

質 耕作放棄地対策の予算が計上されているが、昨年度の実績と成果（補助金交付地は、耕作されているか）は。

答 対象面積は、一・二ヘクタールで、その後の作付けは、畑作を行っています。

質 （歳出の）特定財源に、東日本大震災復興基金が含まれていると考えるが、どこに充当されたか。また、同基金の設置目的（対象事業）は何か。

答 復興基金につきましては、住基・税のクラウド化に約六百万円、防災行政無線の修理費に概ね三百万円繰入れを行っております。



整備が予定されている橋駅前

用と軽自動車用五台、自転車・バイクを百五十台程度予定しています。

質 委託料が目立ってきている、総合計画の策定に関し、委託を止め、職員が行い、経費を抑えたと聞いたが、委託する場合の明確な基準はあるか。

答 総合計画の策定等は、職員が行うことで、職員の資質の向上につながるものと考えます。技術的な専門性の高いものは、外部委託せざるを得ません。経費と職員の資質の向上のバランスを見ながら選択して参ります。

質 給食費を約一千万円値下げるが、その背景は何か。

また、制度の維持と金額の今後は。

答 子ども、子育ての支援をすることを考えております。

恒久的に制度を維持したいということで、金額は、財政状況を見ながら判断されることとなります。

質 「国民健康保険特別会計（後期高齢者医療特別会計）」特に、質疑はありませんでした。

質 総面積、二千二百八十三㎡、県道から駅前道路を通し、その両側に、車の駐車スペース約三十台、その他、身障者

質 町として、センターに衛生管理、業務管理でどの程度まで関わっているか。

（食肉センター特別会計）

苦情にたいする指導的なものの取扱いは。

答 毎月、一回の監査を実施し、問題等に対しては、町が責任をもって、指定管理者と協力して対応して参ります。

（訪問看護ステーション特別会計）特に、質疑はありませんでした。

（介護保険特別会計）

質 当町の介護保険制度は、他市町からの転入者については、半年間の居住によって、適用となると認識しているが、制度変更は有るか。また、転入後に制度を利用している人数は。

答 制度変更は、ありません。人数は、把握していません。

白黒の塗装は、想定していません。

質 臨時福祉給付金事業の申請方法と時期は。

答 対象者を把握し、その方々に通知を差し上げます。通知は、今のところ6月中を見込んでいます。申請は、7月からとなる見込みです。

質 「橋駅前」公園施設整備工事費二千七百万円が計上されているが、どの様な形に整備されるのか。

答 総面積、二千二百八十三㎡、県道から駅前道路を通し、その両側に、車の駐車スペース約三十台、その他、身障者



- ・ごはん
- ・チャプチェ
- ・肉団子
- ・ニラまんじゅう
- ・牛乳



東庄町議会だより

が、その運用は、的確に処理してまいりますので、問題ないと考えます。

質 介護予防事業は来年度も同様の事業内容か。また、二十七年に向けての介護保険制度の策定に際し、新たな事業について、ニーズ調査の実施、他市町の良い制度の導入等の考えはあるか。

答 二十六年度は、これと言って新しい事業はありませんが、現在、ニーズ調査を実施中であり、二十七年に向けて、これらに見合った計画を進めていきたい。

質 コンビニ収納のランニングコストは、どの程度か。また、費用対効果は。

答 二十七年からのランニングコストは、約五百万円を想定しています。

財源として、納期前全納報奨金(九百万円)を廃止の方向で検討しています。

要望 コンビニ収納の実施を機に、納期前全納報奨金制度の廃止を望む。

(水道事業会計)

質 収益的収支の営業費用で九百八十万円計上されているが、十万円以上のものは、資本的支出とならないのか。

答 この修繕費は、検満切れメ

ーターの修繕費等であり、固定資産登録をしないで経理するものです。

質 特別損失の未納金は、時効の援用手続きをとるか。

答 決裁を経て、不納欠損金として、経費算入しています。

(東庄病院事業会計)

質 医業収益のうち、薬品による部分は、把握しているか。

答 薬価差益の詳細は、揃っておりませんが、薬剤師等の人件費を考慮しなければ、収益を増加させるものとなっております。

質 旭中央病院からの研修医の受入れを増員させるとのことだが、旭中央病院のプログラムの一環として受け入れると理解して良いか。

答 旭中央病院の研修医は、二年間の研修期間があり、その内の一箇月間を地域医療研修として当院が受け入れるものです。当院の研修プログラムを評価いただいたものと考えております。

以上のような質疑等がかわされ、この八会計について採決した結果、当委員会としては、いずれも全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議員定数の

在り方を検討

平成25年12月定例議会で設置した議員定数検討調査特別委員会が、2月28日、4月30日の2回にわたり開催されました。

会議では、県下の議員定数の状況や、議会活動のあり方等慎重に審議されました。

今後とも、引き続き検討調査が進められることになってい

議員定数検討調査特別委員会



小型ポンプ積載軽自動車訓練



国から町消防団に無償貸与された小型ポンプ積載軽自動車で、5月12日と15日の2班に分かれ、消防署員の指導により団行事に参加した場合の所作訓練と操作訓練を行いました。



新議員等町内介護(予防)施設見学



新議員等により、介護保険事業の現状を研修するため、町内の特別養護老人ホーム「竜神苑」及び「藹藹」並びに介護老人保健施設「深深」及び小規模多機能型居宅介護施設「楽天堂和楽」を見学が把握でき、有意義な研修となりました。



山崎ひろみ 議員

### 地域防災力の強化について

**問** 我が町の消防団組織の現状と今現在の課題、これから予想される課題について町の考えをお聞きする。

**総務課長** 現在の町消防団は、二十二部で構成され、二百三十五名で活動しています。平成二十五年度の年齢層は、十八歳から六十三歳で、平均年齢は三十六・六歳です。

課題は、消防団員の確保が困難と感じている地域があることです。これは、人口減少や勤務先が町外という方が増えている

ためと思われます。  
**問** 団員の確保が困難になると危惧している地域の要望に関して、町はどのように取り組んで行くか。

**総務課長** これからは、必ずしも若い年齢層の消防団を組織することにとらわれることなく、自分たちの地域は自分たちで守るといふ精神をもつていただき、現在の体制維持を最優先したいと考えています。

**町長** 地域を守るため、年齢性別を問わず団員になるなど、若い方たちだけが消防組織をつくるのではなく、住民全て自衛消防の意識を持って生活をする。これが基本だという事も認識していただきたい。  
いろいろな面から、消防団も変わらなければならぬ状況下ではあるが、地域にマッチさせた最良の在り方を地域の方々に含めて、知恵を絞って考えて行きたいと思っています。



消防団防災訓練

### 児童・生徒の安全を守る取り組みについて

**問** 我が町の幼稚園、小・中学生のアレルギーや内部疾患をもつ子どもの数、及び食物アレルギーの実態把握は、なされているか。

また、学校給食での対応と、新入園・新入学の際の子どもの健康管理について。  
万一アレルギー症状を発症し

た場合の対応等、安心して学校生活を送れる体制の整備について、教育委員会の見解を伺う。

**教育課長** 平成二十五年度の幼稚園児、小・中学生の重いアレルギーや内部疾患をもつ子どもの数は、食物アレルギー十人、その他のアレルギー一人、その内エピペン（アドレナリン自己注射薬、アナフィラキシーに対する緊急補助治療に使用される医薬品）所持が二人、運動に制限のある内部疾患が四人などと把握しています。

食物アレルギーの実態把握は、毎年度当初全員に、小・中学校では「保健調査票」を、幼稚園では「園児に関する調査票」を保護者から提出いただくとともに、健康診断や保護者面談などを通してきめ細かな把握に努めています。

学校給食での対応は、栄養士が毎月の給食献立表に、該当するアレルギーの原因となる食物ごとに色分けして記入したものを各学校・幼稚園に配布し、情報提供に努めています。

新入園・新入学の子どもの健康管理については、先述の調査のほか、教育委員会が実施する小学校入学前の就学相談や、就学時健康診断などで、健康状態を事前に把握し健康管理に努め

ています。

アレルギー症状を発症した場合の対応については、「食物アレルギー緊急対応時マニュアル」の手順に沿って対応しますが、緊急性が高い場合は、直ちに救急車の出動を要請し、医療機関につなげていくこととなります。

**問** エピペンの使用は、命にかかわる問題なので、町内の教職員全員の受講を望むが、教育委員会の考えは。  
**教育課長** エピペンの講習は、平成二十六年四月第一週には、全教職員が受講を終える見込みです。

なお、人事異動等があるため、毎年度、講習を実施するよう呼びかけてまいります。

**問** 群馬県渋川市では、小・中学校の児童・生徒が病気やけが、アレルギー症状で緊急搬送される際、学校と消防署などが迅速に連携できるよう、子どもの病歴などを記入する緊急時対応の子ども安心カードを作成して運用を始めている。

緊急時の子どもを守るという観点から教育委員会の考えを伺う。

**教育課長** 新年度から着手できるように、現在作業を進めています。



東 庄 町 議 会 だ よ り



鈴木 正昭 議員

高齢化社会の健康、福祉施策について

問 高齢化が進む町の保健福祉施策の取り組みの現状と問題点、解決策と、今後の展開について町の考えをお聞きます。

健康福祉課長 健康増進事業として、平成二十六年度に生活習慣病予防教室を六回及び各種がん検診を実施します。

また、人間ドックの助成も充実しており、高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成も今年度は大幅に増加しています。

介護予防対策としては、げんき教室やはつらつ運動教室、いきいき健口教室などを開催し、高齢者の体力維持や認知症予防に努めています。

認知症サポーター養成講座やはつらつ支援ボランティア養成講座を開催して、多くの方に参加していただき、町民の方々が助け合いの気持ちを持って、健

康で長生きできる社会をつくっていきます。



検診の様子

義務教育土曜授業の復活について

問 義務教育土曜授業の復活に関する課題と可能性について伺う。

教育課長 土曜授業を実施するにはさまざまな課題があるので、町教育委員会としてどのようなことができるか、学校側と相談をしてみたいと考えます。

町有地について

問 当町に数力所ある町有地の現状と問題点、その解決策と今後の取り組みについて伺う。

まちづくり課長 町有地の中で売却等が可能な土地は、売却先を見つけて行きたいと考えています。

行政財産の中での主な未利用地として新宿地先に約2万平方メートルの土地が一区画ありま

町ICITについて

問 本町データベースのクラウド方式の進捗状況は。

総務課長 平成二十四年十月から、基幹系の情報(住基・国保・

るよう備えています。  
問 各施設のネット予約はできないか。

総務課長 コスト面と当町の施設数、規模を考慮、検討しています。

現段階では、施設予約システムの導入は時期尚早と考えています。  
※ICITとは・情報通信技術 ※クラウド方式とは・データベースを他所に置き、専用回線等を介在して、利用すること。



大網 正敏 議員

防犯について

問 犯罪抑止の観点から防犯カメラの設置を、町に望むが見解をお聞きます。また、個人で自宅や事務所に設置する場合の支援策を伺う。

総務課長 防犯カメラは、犯罪抑止に一定の効果があるものと認識しているが、本町の人口規模や犯罪件数等から考えて、現

在のところ設置の予定はありません。  
また、個人で防犯カメラを設置する場合の補助金制度もありません。

東庄町のこれからの教育の在り方

問 教育に関するおもな課題として、子どもの学力、体力、規範意識、青少年の自然体験、読書活動、食育の推進、優れた芸術・文化に触れる機会などを、町はどのように認識し、対策を立てたかお聞きます。

教育課長 ご質問の七点についてお答えします。  
一、子どもの学力について  
平成二十五年度「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、各学校では現状と課題を把握・分析して、今後の学力向上に向けて取り組んでいます。  
二、体力について  
平成二十五年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が実施され、本町の児童・生徒は高い水準にあります。  
今後も各学校では、さらなる体力の向上に向けた取り組みを継続して行ってまいります。

三、規範意識について  
各学校においては、道徳の

東庄町議会だより

時間や学校でのさまざまな活動等を通して規範意識の向上に努めるとともに、家庭・学校・PTA・地域の皆様には、引き続き一体となった学校への支援をお願いし、子ども達の規範意識の醸成を図りたいと考えます。

四、青少年の自然体験について  
本町は自然体験のできる良い環境に恵まれているので、それを活かして行きたいと考えます。

五、読書活動について  
各学校では始業前に朝読書の時間を設けるなどの取り組みをしており、町教育委員会も図書購入費の予算確保に努め、読書活動の支援をしています。

六、食育の推進について  
各幼・小・中学校の養護教諭、栄養教諭が中心となり、食に関する指導を行っています。

学校給食センターでは、栄養士が、各小・中学校を訪問して給食指導を行うほか、各小学校一年生の保護者を対象に生涯学習係で行う家庭教育学級を受け入れ、食育の推進を図っています。

七、優れた芸術文化に触れる機会について

各小学校では、演劇や音楽鑑賞などの機会を設けるよう努めています。また、中学校では、三年に一度「音楽鑑賞教室」を開催しており、今後も、増やしていきたいと考えます。

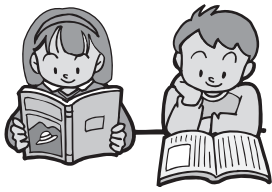
問 町立小学校を一校に統廃合する場合、どのような教育を行っていくか、町の教育理念をお聞きする。

教育課長 これから、「(仮称)東庄町立小学校再編計画」を策定してまいります。

教育基本法のもと、町の新たな教育の理念等もこの中に盛り込むことになるものと考えます。

問 子どもたちの将来像をお聞きする。

教育課長 子ども達の夢や希望が実現できるように、義務教育九年間で基礎をしっかりと固めるとともに、一人ひとりの個性や能力を伸ばし、これからの東庄町、日本を支える人材の育成に努めてまいります。



林 俊之 議員

小学校統廃合について

問 「(仮称)東庄町立小学校再編計画」の策定に当たり、現在の進捗状況は。

教育課長 小学校統廃合と新学校給食センターの建設を協議するために、昨年十二月二十五日に教育委員協議会(教育委員五人)による協議を開始し、三月二十五日に、三回目の協議を予定しています。

問 統廃合の時期について、できるだけ早い時期に統合する方向が望ましいとあるが、今後の進め方についてお尋ねする。

教育課長 教育委員協議会で、統合の方法や時期を協議し、早期に「(仮称)東庄町立小学校再編計画」を取りまとめたいと考えています。

この計画は、統廃合の具体的な実施に向けた基礎になるもので、統廃合の考え方や方法、手順などを盛り込む予定です。

なお、策定過程においては、必要に応じて住民説明会などを開催し、地域の皆様のご理解をいただきながら進めて行くことになると考えます。

地域活性化事業について

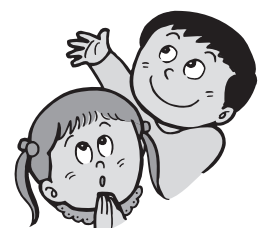
問 町民から道の駅、待望論が多く聞かれる中、町の考え方をお聞きする。

まちづくり課長 本町では、利根川沿いの国道三五六号バイパス工事が河口堰まで接続されつつあり、また、北ルートの工事も進展がみられ工事完成に期待するところです。

こうした道路整備が進む中、財政状況は厳しい状況下ではあるが、道路工事の完成等を考慮して、道の駅設置に向けた検討を進めて行きたいと考えます。

問 東庄町のいちごを全面的に使用して開催されている、オークラ千葉ホテルの「いちごフェア」について、町の取り組み方をお聞きする。

まちづくり課長 東庄町のいちごとして、また町の知名度アップに、かなりの宣伝効果があるものと期待しており、町のホームページや情報誌に掲載する等、積極的に町内外にPRしています。



観光いちご組合等と協力し、各種イベントやメディア等を利用して積極的にPRし、併せて町の知名度アップにつなげてまいります。

問 一月に発売された、演歌歌手、氷川きよしの「大利根なぐれ月」という歌謡曲は、天保水滸伝の平手造酒を題材にしており、東庄町をPRするには、またとないチャンスです。そこで、町の取り組み方をお聞きしたい。

まちづくり課長 町のPRになる曲ですから、各種団体等でも、この曲を活用、応援するようなから、町としてもできる限り協力させていただきます。

町長 町の取り組みや、多くの方々の熱意が、クローズアップされてきたという思いがします。このチャンス逃すことなく、町としてもこの一年を通じて、イベントの柱になれるようなものも捉えて、頑張って支援してまいります。



東 庄 町 議 会 だ よ り



佐久間 義房 議員

東庄町学校教育の状況について

問 町内の小・中学校で学級崩壊が現実には起きていると聞くが、その原因及び対応と改善策を伺う。

教育課長 一般論ですが、原因として、集団生活への適応障害やADHD（注意欠陥／多動性障害）といった疾病、また家庭環境に起因するものなど、さまざまな問題が考えられます。特定の子どもの身勝手な行動が、他の子どもにも作用することで、教師がその対応に追われ、授業を進めることが出来なくなつた場合、学校では校長・教頭、担任教師などが協力し、事態を収拾する態勢をとります。

一方、保護者と連絡や面談を重ねるとともに、場合によっては、保護者に学級に入って、児童に付き添っていただくなどの要請をしています。

また、町教育委員会としては、

学校の要請に応じて、指導主事の派遣や学習支援員として教員経験者を雇用し、学校に配置するなどへの対応をとることになります。

問 不審者侵入防止のために、学校に防犯カメラの設置等の検討を実施したことがあるか。

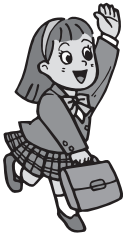
教育課長 東庄中学校のロータリー部分に監視カメラを設置し、常時監視が可能ですが、小学校には設置していません。

また、過去に検討した経緯もないようです。ダミーカメラや「防犯カメラ作動中」、「警察官立寄所」等の表示も抑止効果があるといわれているので、今後の状況に応じて対応を検討することになります。

問 東庄中学校女子の制服は、ジャンパースカートのため活動性に欠け、夏場の暑さは、かなり厳しいものと思われる。

制服の見直しの考えがあるか、お聞きする。

教育課長 基本的に制服の制定は学校が行います。生徒の健康上、問題というところであれば、情報として学校に伝えたいと考えています。



要望 東庄中学校女子の制服について、ジャンパースカートではなくスカートにして、各学年をブレザーで色分けし、段階的に変えて行くようにすると、家庭の負担も少なく済むのではないかと。ぜひ検討していただきたい。

問 教育支援センターの存在を、住民にどのように周知しているか。

教育課長 適応指導教室の趣旨や設置に関しては、学校や関係機関が十分承知しており、実際の利用案内は各学校を通じて、対象児童・生徒の保護者に伝えることとなります。



花香 孝彦 議員

消費税の影響に伴う、経済対策について

問 来年度予算への消費税増税に伴う歳入への影響は、どのくらいの額を想定しているか。

総務課長 平成二十六年予算のうち地方消費税交付金は、一億三千三百万円。

平成二十五年年度予算は一億八百万円なので、二千四百九十万円、二三%の増が見込まれます。

問 歳出ではどの程度の経費増を見込んでいますか。

総務課長 あくまでも、大枠で試算したものとご理解いただきたいが、四千万程度と見込んでいます。

問 国の補正予算に対応した、地域経済が元気になるような施策はあるか。

総務課長 当町の平成二十五年補正予算では対応する事業はありません。

平成二十六年当初予算では、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金が計上されています。

問 平成二十六年予算において、地域経済振興のために使う予算はあるか。

総務課長 町では安全安心なまちづくり事業として、道路関係予算に九千五百万円。

子育て支援策として、幼・小・中学校の給食費補助に一千万円計上し、一億円を超える増額予算になっており、住民の暮らしやすいまちづくりを目指しています。

問 観光客誘致の大型駐車場整備の補助金、観光施設新築・増

築補助金、特産品開発補助金などの個人事業主や企業等のやる気のある経営者をサポートする補助は可能か。

まちづくり課長 観光客誘致の大型駐車場整備及び観光施設新築・増築補助金については、現在補助金の枠組みがなく難しいものがあります。特産品の開発については補助金とは異なるが、農村ふれあい塾等に対応できる場合もあるの、個別の案件についてはその都度、町に相談していただきたいと思います。



東庄町農村ふれあい塾



高木 武男 議員

### 東庄町の今と将来について

**問** 脱、人口減少に対する町の対策と考えを伺う。  
**総務課長** 当町でできるところの、子どもの医療費の無料化や各種子育て支援策など、今後も継続的に取り組んで行くことが必要だと考えます。



**問** 町の活性化策として、イベントを行うだけではなく、町全体が豊かになる対策が必要と考えるが、具体的な考えを伺う。  
**総務課長** イベントがイコール活性化ではなく、地域活性化へのきっかけの一つと考えています。それを通して、住民の中から活動のリーダー的存在や組織が生まれ、人々を巻き込み、継続的な活動につながるように地域活性化補助金をはじめ、農業支援など、各種支援策を講じています。

**問** これからの町づくりは、国の指導や補助金に頼ることなく、自立することが大事だと思う。自立した夢のある町づくりに対する考えをお聞きます。  
**総務課長** 「暮らしやすさ」と「協働」というキーワードをもとに、「住むことに快適な町」を形成して行くこと、「町に関係する全ての人」が一体となって町づくりを進めて行くことを目指して、「町づくり会議」等、地域で暮らす方々からのご意見を参考にしながら、町づくりに取り組んでまいりたいと考えています。

**問** 町には、実行力が求められていると思うが、町長の所見を伺う。  
**町長** 当町も人口が減少して行

く状況下、今住んでいる方たちがきちんとした形の中で、幸せを感じていただくことも大事であり、多分野にわたって手を尽くさなければならぬと思っています。  
主観になりますが、東庄町に住む方たちが笑顔で、幸せでこの地域性を十分生かしながら住むことの喜びを感じていただけるような町づくりを、進めて行くべきだと考えています。



板寺 正範 議員

### 東庄町福祉車両の貸し出しについて

**問** 昨年寄贈された寝台（ストレッチャー）付きワゴン車を含めた福祉車両の管理窓口及び車種、機能、台数をお聞きます。  
**健康福祉課長** 町には福祉車両が三台あります。  
健康福祉課には、車いす仕様車が二台で、いずれもトヨタ・ラクティス、定員は四人、うち車いすが一台利用できます。寄贈されたストレッチャー付

きワゴン車は東庄病院に一台あり、トヨタ・ハイエースで、定員八人、車いすと寝台一台ずつ、または車いすのみで二台利用できます。  
**問** 利用者が少ないと感じられるが、申請手続きや貸出要綱に利用しにくい点はないか。また、一年間の、貸し出し状況を伺う。  
**健康福祉課長** 六十五歳以上の高齢者または心身障害者で、利用対象者が本人もしくは同伴する家族、社会福祉団体及び施設、社会福祉ボランティアなどで、利用料は無料、利用期間は原則一日です。  
申込窓口は健康福祉課及び東庄病院で、利用開始日の五日前までの申し込みとなっています。貸し出しの際には、運転者の免許証を確認するとともに、車両の異常の有無を確認し、使用方法を説明します。

貸し出し状況は、健康福祉課の車両は年間十八件程度、東庄病院の車両は、昨年五月から貸し出しを始め六件でした。  
今後利用者の拡大を図るために町広報紙やホームページなどで、PRに努めてまいります。  
**問** 貸し出し許可に係る時間の短縮及び運転手も必要と希望する場合には、車と一緒に手配できるシステムの構築ができないか。  
**健康福祉課長** 東庄病院の福祉車両は希望があればいつでも利用できます。健康福祉課の福祉車両も平日には、いつでも利用していただけるよう、今後要綱の改正を行いたいと考えています。  
また、運転手の確保及び車と運転手を一緒に手配できるシステムづくりについては、今後関係機関と協議し、検討して行きたいと思っています。

**議会の傍聴に  
お出かけください**  
6月定例会は、6月10日(火)  
から開会予定です  
<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>

この一般質問は、三月定例会の内容を要約したものです。  
全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。